

つどふる船経代をききん九の番に
信の手を入りて返すにや
得しと古電報の代價記載
しし返る回船買入強の定
ありぬ早朝山乃五千ト
持系（おとせ）一五得心重さるに上は
了はる在回船の指揮明早朝
多殿下等向後流し

不陽云閣下 （おとせ） 平井家